

# キラリ 輝け 山陽中 No.16 (26.05.21) 文責 内海雅章

## 朝会にて

5月21日(木)、今日は、朝から雨模様です。天気が悪いと気分的にも落ち込みがちですが、こんな時、1時間目に朝会があり、生徒たちの活躍を感じることができました。

生徒会、各種委員会からの話、成果と課題、よく分析しています。生徒会や各系の頑張りにこれからも期待しています。



## 校長からの話 (抜粋)

4月の緊張感から始まった新生活ですが、今のみなさんの様子を見てみると、新しいクラスや担任の先生、そして1年生は中学校の生活に、ずいぶん「慣れてきた」ように感じます。授業に真剣に取り組む姿、休み時間の明るい笑い声、放課後の部活動の活気、どれも素晴らしいものです。

しかし、この「慣れてきた」という時期こそ、実は一番大切な心の分かれ道になります。

「慣れる」ということは、緊張がほぐれて自分らしさを出せるようになるという良い面があります。その一方で、心の緊張感が緩み、「これくらいでいいや」という油断や、生活の乱れにつながりやすいという面もあります。いわゆる「中だるみ」と言われる状態です。

5月末の今、みなさんはどちらの「慣れ」の中にいるのでしょうか。

これから6月にかけて、みなさんには大きな節目が待っています。

3年生、部活動に励むみなさんへ いよいよ、これまでの集大成となる総体やコンクールが近づいてきました。「慣れ」を「妥協」にせず、一瞬一瞬を「本気」で駆け抜けてください。仲間と共に流した汗は、一生の宝物になります。

1、2年生のみなさんへ 先輩たちの背中を見て、次の学校の柱となる準備を始める時期です。また、間近に迫る定期テストに向けて、日々の学習の「慣れ」を「確かな実力」に変えていきましょう。

繰り返しになりますが、特に3年生は、進路を見据えた定期テストを気にしながら部活動にと、大変な思いをすることになりますが、ここ一番、今まで積み重ねてきた力を発揮してもらいたいです。

最後に、季節の変わり目で、体も心も疲れが出やすい時期です。だからこそ、「きっちり挨拶をする」「時間を守る」「友達に優しい言葉をかける」といった、当たり前のことをもう一度丁寧に、意識して行ってみてください。

だるさに負けず、自分の「アクセル」をぐっと踏み込んで、この5月を最高の形で締めくくり、充実した6月を迎えましょう。学校は、先生たちは、みなさんの「本気」を全力で応援しています。